

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

事業名 ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大・支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 男女共同参画推進課 両立推進係 電話番号：058-272-1111(内3571)
E-mail : c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000千円 (前年度予算額： 2,000千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 従業員の働きやすい職場環境整備のため「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍推進」に積極的に取組み、他の企業の模範となる「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」は210社(令和6年度末)あるものの、地域や業種に偏りがあるなどその数は十分とは言えず、エクセレント企業の更なる拡大に向けて、認定を目指す中小企業の増大や、認定が少ない業種から新たな輩出を進めていく必要がある。
- そこで、ワーク・ライフ・バランスへの取組み推進への支援を行い、認定拡大を図る。

(2) 事業内容

- 仕事と育児、介護等の両立支援や、女性の採用・職域拡大を目的とした働きやすい職場環境の整備に取り組む企業を支援する。

対象者：エクセレント企業認定を目指す企業

補助率：1／2 上限額：20万円

【対象事業】

エクセレント企業認定を目指す企業が行うエクセレント企業認定基準を満たすための取組みとして認められる事業

- 仕事と家庭の両立に向けた取組み
- 女性のキャリアアップに向けた研修・交流事業等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・広域的な取組のため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,000	職場環境の整備及び人材確保に取り組む企業への補助 1,000=@200*5社
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・清流の国ぎふ創生総合戦略 → 誰もが活躍できる社会
- ・県男女共同参画計画 → ワーク・ライフ・バランスの実現
- ・少子化対策基本計画 → 働きながら子育てしやすい環境づくり
- ・県女性の活躍推進計画 → エクセレント企業の認定拡大

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

従業員の仕事と家庭の両立支援に取り組む企業への支援（補助）を通じ、エクセレント企業への申請・認定につなげる。

※「男女共同参画計画（第5次）」

○岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数 R10末:300社

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数		210	240	260	300	66.6%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・エクセレント企業5社に対し、人材確保のための折り込みチラシ発行や情報誌への掲載、就職情報サイトへの掲載等への補助を行った。
	指標① 目標：222 実績：182 達成率：82.0 %
令和 5 年 度	・エクセレント企業5社に対し、人材確保のための折り込みチラシ発行や情報誌への掲載、就職情報サイトへの掲載等への補助を行った。また、研修会の実施に対し補助を行い、新規申請へつなげることができた。
	指標① 目標：250 実績：198 達成率：79.2 %
令和 6 年 度	・エクセレント企業6社に対し、人材確保のための就職活動イベントへの参加、折り込みチラシ発行就職情報サイトへの掲載、就業規則変更等への補助を行った。また、職場参観の実施に対し補助を行った。
	指標① 目標：250 実績：210 達成率：79.2 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	共働き世帯の増加や高齢化に伴う介護負担の増加により、労働者のニーズ が多様化する中で、仕事と家庭を両立しながらいきいきと働き続ける環境の 整備をより一層推進する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 2	エクセレント企業の取組みは、全国的にも評価されており、県内企業における取組みも促進されている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 2	先進的に取り組む企業の取組みを後押しし、そのノウハウを他の企業に普及させることで、全体のレベルアップを図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

補助対象企業の条件や補助メニューの充実等

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

エクセレント企業認定のさらなる拡大のため、補助金の要綱改正を行い、補助対象を拡大し、認定増加に向けて事業を継続する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	